

令和 7 年度 第 3 回施設長会 資料 5

(川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会)

— 議 題 —

- 1 各プロジェクト委員会の進捗状況等について …資料 1
 - (1) 災害プロジェクト委員会について
 - (2) 人材プロジェクト委員会について

- 2 施設長会情報交換会テーマについて …資料 2

- 3 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会について …資料 3
 - (1) 第 22 回かながわ高齢者福祉研究大会について
 - (2) 第 23 回かながわ高齢者福祉研究大会の実行委員選出について
 - (3) ホームページコンテンツ取材先の推薦について

- 4 施設部会より …資料 4
 - (1) ふくしの出張講座について
 - (2) 食糧支援かわさきについて

- 5 その他 …資料 5
 - (1) 川崎市総合研修センターより
 - (2) 企画調整室より

各プロジェクト委員会の進捗状況について

1. 災害プロジェクト委員会

第2回災害プロジェクト委員会 / 8月7日（木）14時～15時30分

※第2回防災班長会議と合同開催

≪協議概要≫

(1) 令和7年度川崎市総合防災訓練について

川崎市健康福祉局総務部危機管理担当より説明。

概 要：

令和7年8月31日（日）午前9時から12時まで、川崎総合科学高校と隣接する河川敷で総合防災訓練を実施。この訓練では、福祉部門として、一時避難所である川崎総合科学高校の体育館から、要配慮者（高齢者で介助が必要な方）を二次避難所へ移送する訓練を行う。

参加団体：

川崎市の危機管理担当部署、区役所の福祉関係部署、神奈川県災害派遣医療チーム（神奈川 DMAT）、および特別養護老人ホームみんなと暮らす町が協力する。

訓練の詳細：

一時避難所（高校体育館）に避難した要配慮スペースの利用者を、神奈川 DMAT がスクリーニングを行う。

訓練では、高齢者1名と介助者1名が、民間輸送車で二次避難所へ移送される。

9時20分頃に E-Welfiss を立ち上げ、みんなと暮らす町に要配慮者の受入可否を連絡し、受入可の連絡を受けてから輸送を開始するため、10時10分頃の到着見込みとなる。

二次避難所では、幸区の施設が情報伝達・物資移送訓練や要介助者の受け入れ訓練を行う。

8時30分～9時で E-Welfiss による情報伝達を実施し、9時～9時15分頃までに物資を移送。

質 疑：

二次避難所の役割：二次避難所は治療を行う病院ではなく、在宅で福祉的ケアを受けている方が自宅にいらなくなった場合に、一時避難所では設備が不十分なため利用する場所である。医療的な対応が必要な場合は、二次避難所ではなく医療機関へつなぐことになっている。

介助者の同伴：川崎市では、二次避難所へは介助者と一緒にいくことが想定されている。今回の訓練でも、高齢者役と介助者役の2名が二次避難所へ向かう。

幸班訓練について：幸区での班会議の中で、訓練への参加方法が話し合われた。その結果、情報伝達・物資移送訓練を行うことが決まり、各施設が事前に物資（空の段ボール箱におむつや食料を入れ張り紙）を準備し移送。その後、二次避難所の設営を手伝う予定である。

今後の調整事項：

幸区の訓練の集合時間や情報伝達訓練（E-Welfiss の操作）のやり方について、具体的な調整が必要。市からは、幸区には広嶋施設長を通じて、訓練の具体的な時間調整を行う。

(2) 災害対応に関する研修会について

候補者と意見：

- ・水田氏（福祉マネジメント＆デザイン）：昨年度、県社協で BCP 見直しシミュレーション研修を実施した。ゲーム形式で、BCP を見直すには良い内容との意見があった。
- ・寺西理事長（高齢者住まいる研究会）：災害想定ゲーム「KIZUKI」を作成した方。ゲーム形式のため、職員への BCP の説明や、職員自身が発災時の動きを考えやすく、実践につながるとの意見が出た。
- ・その他の意見：
実際に被災した施設の話聞くことで、職員の危機意識を高めたいとの意見が出た。
管理職だけでなく、現場の職員も参加できる研修が良いという意見があった。

今後の対応：

候補者 2 名のうち、どちらか一方、日程が確保できそうな方で調整を進めることになった。
他により良い研修の案があれば、随時社協へ連絡することとなった。

(3) 近隣都市との意見交換会について

昨年度の取り組み：

横浜市社会福祉協議会高齢福祉部会災害プロジェクト委員会と意見交換会を実施。高齢福祉部会の西山部会長から、神奈川県、相模原市、横浜市、川崎市の 4 ブロックでの連携強化を図ることの大切さと先駆けとして川崎市と横浜市の連携強化の推進について提案された。

昨年度の課題：

テーマを設定していなかったため、深い意見交換にはならなかったとの反省点が出た。

今後の意見：

- ・川崎市と横浜市との意見交換会は継続したい。
- ・隣接する区（例：鶴見区[川崎区]、青葉区や町田市[麻生区]、稲城市[多摩区]など）の施設との交流や連携を深めたい。
- ・同区内の他種別施設（例：小学校や保育園など）との連携も深める必要がある。
- ・横浜市と具体的なテーマ（例：他市近隣区間物資移送訓練など）を決めて意見交換会を実施することが提案された。

今後の対応：

横浜市との連携を継続し、横浜市社協に具体的なテーマや、川崎市と隣接した横浜市の区の施設長の参加を打診する。

(4) 各班の訓練等取組み状況について

各区班長より報告。

川崎区：8 月 14 日に物資移送訓練を予定。今回は参加範囲を拡大し、川崎区役所の高齢障害課と川崎区社協（川崎市社協協力）も E-Welfiss による情報伝達訓練と訓練後の振り返りに参加する。今回の訓練で川崎区の全施設が一巡するため、次回の訓練内容を検討する。

幸区：7月24日に幸班会議を開催し、8月31日の川崎市総合防災訓練で物資移送訓練を実施することを決定。

中原区：7月9日にE-Welfissを活用した情報伝達訓練と物資移送訓練を実施。訓練では、等々力を支援要請施設として物資を運んだ。訓練の振り返りでは、E-Welfiss操作ができる職員を増やす必要性や、各階のパソコンからE-Welfissにアクセスできるようにしておく工夫などが共有された。

また、次回の訓練でも同様の内容で行うが、区内すべての施設を回り切れてはいないので、施設の場所を知る意味でも、まだ支援要請施設になっていないところに協力を仰ぐ予定。LINE WORKSを活用した連絡体制強化の取り組みを進めている。

高津区：9月上旬に物資移送訓練を実施したいと考えているが、会場となる施設が見つからない状況。代替案として水リレー訓練などを検討中。

宮前区：4月にE-Welfiss訓練を実施し、9月にも再度実施する予定。施設長だけでなく、多くの職員にE-Welfissの使い方を習熟させることが目的。

多摩区：4月18日によみうりランド花ハウスを支援要請施設として物資移送訓練を実施。ある施設が他施設の職員をピックアップして少ない車の台数で物資を移送する訓練を試みたが、ピックアップ漏れが発生したため、ルール（待機時間等）を明確化する必要性が議論された。次回は9月に人的支援の訓練を予定している。

麻生区：7月8日に情報伝達訓練と物資移送訓練を実施。参加率が低いことがこれまでの課題だったが、情報伝達訓練には11施設中9施設が、物資移送訓練には8施設が、訓練後の班会議には7施設が参加。訓練で出た意見（必要物資の指示方法、駐車スペース、移送のタイミング、物資の置き場所など）は、次回のシナリオに盛り込むことになった。次回は10月にまごころタウン*新百合ヶ丘を被災想定施設として訓練を行う予定。

(5) その他

次回のE-Welfissを活用した情報伝達訓練：

市では、保健・医療・福祉の連携訓練を来年2月頃に実施することを検討しており、その中でE-Welfissの活用も視野に入れている。

(6) 今後の予定

第3回災害プロジェクト委員会・防災班長会議 / 9月4日（木）14時～

2. 人材プロジェクト委員会

第2回人材プロジェクト委員会 / 7月16日(水) 14時～

≪協議概要≫

(1) 橘高等学校定時制での企業説明会報告と今後の人材確保戦略

●橘高等学校での企業説明会

- ・日時：6月20日(金)に開催済み。
- ・対象：川崎市立橘高等学校定時制の全学年約80名。
- ・内容：岩壁施設長が福祉業界のQ&Aを担当し、平山施設長が介護の仕事の具体的な内容について説明。介護についてのイメージ(汚い、きつい、休みが取れない、給料が安い等)について生徒と話し、ネガティブなイメージが根強く残っていることが浮き彫りになった。
- ・結果：2クラス計29名が参加。コミュニケーションに課題を抱える生徒もいる中で、「人と接する仕事」「人の役に立つ仕事」ということで、介護の仕事をしてみたいという意欲を持つ生徒が各クラス1名ずついた。生徒のネガティブなイメージは根強いものの、話を聞いたことでイメージが変わった生徒もいたため、今後も積極的な情報発信の継続が重要。
- ・今後の連携：人材バンクが学校の先生と連携し、施設見学やボランティア活動の機会提供を検討していく予定。

●介護業界の現状認識と広報の課題

- ・有効求人倍率：人材バンク運営委員会で、介護業界の有効求人倍率が1.0倍を超え、人材確保が非常に困難な状況であることが報告された。
- ・解決策：潜在的な人材の発掘(例：若年層の掘り起こし)と既存職員の定着が喫緊の課題。
- ・マスコミの活用：過去に神奈川新聞が介護のやりがいや処遇を肯定的に報じた事例を参考に、行政や社協がマスコミに対して介護のエッセンシャルワーカーとしての重要性を働きかけることが必要。

●高校生のアルバイト受け入れ:

- ・現状：一部の施設では高校生・大学生を介護補助(生活支援、清掃、洗い物、ゴミ捨てなど)のアルバイトとして受け入れている。
- ・課題：他のアルバイトと比べて時給は悪くないものの、高校生を受け入れる体制や学校との連携、保護者の理解、業務の切り出しや短時間勤務への対応が十分ではない。
- ・今後：介護補助等でアルバイトとして働く経験が、将来的に介護職に就くきっかけとなる可能性があるため、実際に体験してもらう意味でも受け入れは有効。

●小学校・中学校における福祉教育

- ・ **事例**：6月に実施したラースール麻生での小学4年生を対象とした福祉教育では、施設見学や車椅子・高齢者疑似体験だけでなく、入居者との交流も行われ、介護福祉に対する偏見をなくし、肯定的なイメージを育むことに良い影響を与えた。
- ・ **課題**：学校側が外部からの情報（ボランティア募集など）を保護者向けに発信することが難しくなっており、社協主催のチャレンジボランティアの参加者も減少している。
- ・ **今後のアプローチ**：教育委員会やロータリークラブの教員向け研修（福祉施設での実習など）を参考に、教員自身が福祉現場への理解を深めることが、生徒のキャリア指導にも影響を与える。学校や保護者へのアプローチ方法を検討し、就職が目的でなくとも「知ってもらう」ことを目的とした連携の強化が必要である。

(2) 人材プロジェクト委員会の今後の取り組み

●介護の仕事紹介動画作成

- ・ **目的**：介護の仕事の魅力発信、ハローワークや学校での活用。
- ・ **現状**：パワーポイント資料（施設種別、仕事内容、役割、介護補助からの働き方、キャリアアップなどをAI写真も活用しながら説明）を基に作成中。一部、平山施設長のナレーション付き試作動画も作成済み。
- ・ **今後**：利用者の家族や介護補助からスタートした職員からのコメント動画に挿入する予定。ハローワーク川崎北では、完成した動画をDVD形式で提供すれば、ループ再生が可能との意向が示されている。
- ・ **担当班**：茶園副委員長、平山施設長、川戸施設長、中村施設長、吉野施設長が動画作成班を担当し、茶園副委員長が班長を務める。

●介護職員アンケート調査

- ・ **目的**：職員の定着促進、離職理由の把握、労働環境改善への貢献。
- ・ **現状**：コンサル会社バックオフィス総研の協力を得て調査票は作成済みだが、紙媒体での回答希望への対応や分析費用が課題となり中断中。
- ・ **今後**：回答の集計と結果の分析を行い、全施設での共有や、個別施設へのフィードバックを目指す。アンケートの設問項目はある程度固まっているが、ICT活用に関する設問を見直す等、時代の変化に応じた内容を盛り込む。また、退職職員からの離職理由に関する情報収集の仕組み作りも検討する。
- ・ **担当班**：和田副委員長、伊藤施設長、木下施設長、福芝施設長がアンケート班を担当し、和田副委員長が班長を務める。

(3) 介護の仕事入門セミナーへの協力

ハローワーク川崎北からセミナーへの協力依頼があった。

- ・ **日時** : 8月26日(火) 13:30~14:30
- ・ **場所** : ハローワーク川崎北4階 会議室
- ・ **対象** : 介護の仕事に関心のある求職者(最大20名)。
- ・ **内容** : 「施設でのケアの実際」と「人材プロジェクト委員会の活動概要説明」をし、その後川崎市内の特養を紹介。
- ・ **対応** : 平山施設長と木下施設長が講師として説明。冒頭あいさつで岩壁委員長参加。
⇒具体的な仕事内容だけでなく、働く上での不安(資格の必要性、給与、休暇等就業条件など)に対するQ&Aに重点を置く。
⇒特養に対するネガティブなイメージを払拭するためにも、ICT化等で先進的な取り組みを行っている施設の事例紹介や、行事等の楽しい雰囲気伝えられる動画や写真を活用する。
- ・ **注意点** : 過去のハローワーク福祉の仕事説明会では、年間で100名以上の求職者が参加したものの、実際の雇用にはつながりにくかった経験を踏まえ、よりの確で魅力的な情報発信を心がけ、介護への関心を深めてもらうことを目指す。

(4) 今後の予定

第3回人材プロジェクト委員会 / 9月17日(水) 14時~

※新たに生田まほろばの中村施設長が人材プロジェクト委員会に参加することとなった。

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会
人材プロジェクト委員会 委員名簿

■任期：令和 7・8 年度

（順不同・敬称略）

No.	役職	区	委員氏名	施設名	所属先 役 職	法人名
1		川崎	伊 藤 規 子	しおん	施設長	ハートフル記念会
2	○	川崎	和 田 泰 明	桜寿園	施設長	セイワ
3		幸	木 下 大 輔	クロスハート幸・川崎	施設長	伸こう福祉会
4	◎	中原	岩 壁 信 行	等々力	施設長	春日会
5		中原	福 芝 康 祐	ヴィラージュ中原	施設長	美生会
6		宮前	平 山 み ち る	鷺ヶ峯	施設長	セイワ
7	○	多摩	茶 園 恵 美 子	多摩川の里	施設長	川崎市社会福祉事業団
8		多摩	川 戸 直 志	よみうりランド花ハウス	施設長	読売光と愛の事業団
9		多摩	中 村 正 明	生田まほろば	施設長	みずほ
10		麻生	吉 野 英 明	金井原苑	苑長	一廣会
—		—	白 井 裕 一	老人福祉施設協議会	会長	—

◎委員長 ○副委員長

情報交換について

1 情報交換について

施設長会の際に、会員施設同士で情報交換、意見交換が出来る時間が限られており、平成 30 年度より施設長会と合わせて実施している。

老人福祉施設「協議会」という名のとおり、施設同士等で情報交換、意見交換が出来るテーマを設け、設定テーマに基づく 30 分程度（目安）の情報交換を実施します。

（１）会員施設から情報交換のテーマを募集

〔情報交換のテーマ例：看取りの実施方法、加算の取得状況、職員の雇用形態 等〕

（２）正副会長等会議において、施設長会での情報交換テーマを検討します。

（３）施設長会の開催通知に、情報交換の設定テーマを記載し各施設へ連絡。

各施設には必要に応じて資料等をご用意いただきます。

2 令和 7 年度第 3 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：「 10 月の施設長会で行政に聞いてみたいこと、相談したいこと 」

内 容： 10 月の施設長会の情報交換会は行政との情報交換を予定しています。

川崎の高齢者福祉の未来のために、相談したいこと、協働したいこと等、建設的な話し合いにすることができる内容を検討します。

3 令和 7 年度第 2 回施設長会の情報交換会のテーマについて

テーマ：「 食材料費・水光熱費等の高騰による影響、熱中症対策の取り組み 」

内 容： 米を含めた食材料の高騰に伴い発生している課題

6 月 1 日から義務化された熱中症対策への体制整備や取り組み

4 過去の情報交換会テーマ一覧

【令和 3 年度】

6 月 16 日	アフターコロナの施設運営について
8 月 25 日	新型コロナウイルス感染症への対応について
10 月 20 日	With コロナの施設運営について
12 月 15 日	科学的介護情報システム「LIFE」について
動画配信	介護職員処遇改善支援補助金について

【令和4年度】

6月15日	施設におけるコロナ対応について～第6波終了の今、第7波に備えて～
8月25日	新型コロナウイルス第7波における各施設の課題、問題点、各施設との連携方法
10月19日	I C T機器の導入について
12月21日	【中間報告】第3回神奈川県特養実態調査（川崎市版）について
2月15日	施設運営における補助金の有効活用について～大規模修繕・コロナ対策など～

【令和5年度】

4月19日	災害について（各区の防災班長・副長について）
6月21日	新型コロナウイルス5類移行に伴う対応の変化について
8月23日	派遣職員と人材紹介事業所について
10月18日	派遣職員と人材紹介事業所について～part2～
12月20日	容態急変等による救急対応や看取りの現状について
2月21日	人材確保・災害対策・感染対策・事業所契約・利用者トラブル等、各施設で今年度一番対応に苦慮した事例について

【令和6年度】

4月17日	介護保険法の改正と報酬改定により示された国の方向性に特養はどう取り組む必要があるのか
6月19日	経営政策研究ワーキングで協議した内容（人材育成）について
8月28日	介護報酬改定を受けて取り組みが変化したことや新たにに取り組むようになったこと
10月16日	物価高騰に伴い事業者との関りで困っていること、不安に感じていること
12月18日	物価高騰・人材確保・人事管理等の対応で施設長として悩むこと
2月19日	各施設で今年度一番対応に困ったこと

神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会について

①第22回かながわ高齢者福祉研究大会

- 開催日：令和7年7月2日（水）10時～16時
- 会場：パシフィコ横浜会議センター3階
- 対面参加申込総数：757名（川崎市：88名）
- 協賛出展企業：37社
- 協賛広告企業：31社

【研究発表一覧（川崎市）】

- 特別養護老人ホーム片平長寿の里
「道具がなくても始められる～ノーリフトケアのリアル～」
- かないばら苑ヘルパーステーション
「参加型研修の継続によりチーム力アップ～個ではなくチームで学んで不安解消～」
- 特別養護老人ホーム新緑の郷
「心をつなぐバリデーション～自分も変われば認知症の方も変わる～」
- 特別養護老人ホーム等々力
「外国人介護人材の活用～技能実習生介護職員の人材育成について～」
- 特別養護老人ホーム夢見ヶ崎
「職員の力を最大限に引き出す組織構造改革～3つの糸で紡ぐ、人と組織の調和と進化～」

【介護技術発表一覧（川崎市）】

- 特別養護老人ホーム夢見ヶ崎
「骨格の違いに着目した『GIFT 式介護技術』を用いた移乗介助（実演）」

【実行委員】

- 大会運営・全体統括（副実行委員長）：平山 みちる 施設長（介護老人福祉施設鷺ヶ峯）
- 企業協賛：古敷谷 耕平 施設長（特別養護老人ホーム大師の里）
- 研究発表：岩壁 信行 施設長（特別養護老人ホーム等々力）
- 介護技術発表：茶園 恵美子 施設長（特別養護老人ホーム多摩川の里）

【審査員・係員】

- 大会運営受付・案内：森住 直幸 職員（介護老人福祉施設鷺ヶ峯）
- 座長・司会：中村 正明 施設長（特別養護老人ホーム生田まほろば）
- 会場係：須賀田 富美恵 職員（介護老人福祉施設桜寿園）
- 機材係：日當 和尚 職員（特別養護老人ホーム金井原苑）
- 審査員（施設長）：鈴木 聡 施設長（特別養護老人ホーム柿生アルナ園）
- 審査員（中堅職員）：森田 浩光 職員（特別養護老人ホーム等々力）
- 審査員（行政）：菊川 隆志 課長（健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課）

【今後の予定】

●第7回実行委員会

日時：8月15日（金）午前10時～

会場：神奈川県社会福祉センター6階

内容：研究発表の最優秀賞の決定について

※4会場に分かれて研究発表を行い、各会場から優秀賞が選出

4つの優秀賞の中から最優秀賞を選出（神奈川県社会福祉大会で県知事表彰）

第22回大会の振り返り

②第23回かながわ高齢者福祉研究大会の実行委員選出について

1 選出範囲

市社協会員施設（59施設）

2 選出方法

- ① 実行委員は半数ずつ2大会交代
- ② 実行委員には県老施協委員を1名選出
- ③ 実行委員には施設長の選出が望ましい
- ④ 実行委員は施設単位で依頼（委員に異動があった場合には施設内後任者が継続）
- ⑤ 実行委員の半数程度は経験者を選出
- ⑥ 当日係員は実行委員にカウントしない
- ⑦ 実行委員は施設名五十音順に依頼（特別養護老人ホーム等の部分を除いた名称）

※ただし、直近3大会で実行委員を選出した施設は除く

※①～⑥については、県社協からの選出依頼にあたっての選出方法

⑦については、平成30年度第3回施設長会にて承認して頂いた選出方法

（第21回大会）

すえなが	菅の里	すみよし	大師の里	太陽の園
県老施協 委員	第20回大会より継続		第21回大会より選出	



（第22回大会）

鷲ヶ峯 (すえなが)	大師の里	多摩川の里	等々力
県老施協 委員	第21回大会 より継続	第22回大会 より選出	



（第23回大会）

陽だまりの園	おだかの郷	多摩川の里	等々力	
県老施協 委員	県老施協 委員	第22回大会 より選出		第23回大会 より選出

※第23回大会は川崎市が実行委員長を務める番になるため、県老施協委員から2名を選出する。

No.	施設名 (特別養護老人ホーム除く)	備考 (直近実行委員)	備考 (過去実行委員参加一覧)
1	あさおの丘	16・17	16・17
2	生田広場	17・18	17・18
3	生田まほろば	15・16	15・16
4	いせうら		
5	ヴィラージュ川崎	15・16	15・16
6	ヴィラージュ中原		
7	ヴィラージュ虹ヶ丘	17・18	17・18
8	桜寿園	15・16	2・9・10・15・16
9	おだかの郷	15・16	15・16
10	柿生アルナ園	16・17	16・17
11	片平長寿の里	19・20	14・15・19・20
12	金井原苑	18・19	7・8・9・10・11・12・13・14・18・19
13	蟹ヶ谷		
14	川崎市恵楽園	15・16	15・16
15	川崎ラシクル		
16	クロスハート幸・川崎	15・16	15・16
17	ケアハウスすえなが	17・18	17・18
18	恒春園	18・19	4・5・18・19
19	幸風苑	15・16	1・7・8・9・15・16
20	こむかい・南さいわい	19・20	14・15・19・20
21	境町フェニックス		
22	桜の丘		
23	潮見台みどりの丘	18・19	12・13・18・19
24	しおん	18・19	1・2・3・4・8・9・18・19
25	しゃんぐりら	18・19	13・14・18・19
26	しゅくがわら三清荘		
27	新緑の郷	19・20	19・20
28	すえなが	19・20	4・5・6・8・10・11・19・20・21
29	菅の里	20・21	13・14・20・21
30	すみよし	20・21	12・13・20・21
31	せせらぎ		
32	大師の里	21・22	11・12・21・22
33	太陽の園	21	2・21
34	高津山桜の森		
35	多摩川の里	22	7・8・9・11・12・16・17・19・20・22
36	等々力	22	7・8・9・17・18・22
37	虹の里		5・6
38	ビオラ川崎		11・12
39	陽だまりの園		2・3・8・10・11・12
40	ひらまの里		4・5・6
41	風光		9・10・11
42	富士見プラザ	19・20	6・7・13・14・19・20
43	プラチナ・ヴィラ野川	17・18	17・18

44	フレンド神木		9・10
45	まごころタウン*新百合ヶ丘		
46	みかど荘		1・2・3・10・11・12・15
47	みやうち		4・5
48	みんなと暮らす町		9・10
49	ゆとりあ		
50	夢見ヶ崎		1・2・3・6・7・13・14
51	養護すえなが		3
52	よみうりランド花ハウス		7
53	ラスール麻生		
54	ルピナス王禅寺		
55	レジデンシャル百合ヶ丘		
56	鷺ヶ峯		11・12
57	和楽館	17	14・15・17
58	わらく桃の丘		14（途中交代）

かながわ高齢者福祉研究大会実行委員長及び副実行委員長（係別統括責任者） 輪番一覧表

※敬称略

回	開催年度	実行委員長	ブロック	研究発表	介護技術発表	就職相談・企業協賛	大会運営
15	28年度	金子 修一 (みかど荘)	川崎	米山 康之 (芹沢ホーム)	前田 卓哉 (たきがしら芭蕉苑)	牧田 正之 (片平長寿の里)	赤間 源太郎 (縁JOY)
16	29年度	赤間 源太郎 (縁JOY)	相模原	杉本 信雄 (羽沢の家)	仁科 淳子 (桜寿園)	小林 立 (千代田 デイサービスセンター)	浅葉 統太 (横須賀椿園)
17	30年度	森 弘樹 (ヒューマン)	県域	高松 繁行 (多摩川の里)	及川 悦子 (柴胡苑)	古谷田 紀夫 (みなみ風)	西山 宏二郎 (弥生苑)
18	令和元年度	牧野 裕子 (第二新横浜 パークサイドホーム)	横浜	萩原 正晃 (はなさか)	古谷田 紀夫 (みなみ風)	水越 洋二 (本牧ホーム)	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)
19	2・3年度	藤田 茂樹 (潮見台みどりの丘)	川崎	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	前田 卓哉 (たきがしら芭蕉苑)	白井 裕一 (富士見プラザ)	坂本 陽二郎 (芙蓉の園)
20	4年度	坂本 陽二郎 (芙蓉の園)	相模原	水越 洋二 (みなもの桜)	牧田 正之 (多摩川の里)	山口 忠夫 (東橋本ひまわりホーム)	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)
21	5年度	川瀬 和一 (藤沢養護老人ホーム)	県域	平山 みちる (鷲ヶ峯)	川上 徹 (特別養護老人ホームモモ)	関田 智彦 (ルビーホーム)	晝間 靖裕 (やまゆりホーム)
22	7年度	晝間 靖裕 (やまゆりホーム)	横浜	阿部 匡秀 (東林間シニアクラブ)	三澤 京子 (寒川ホーム)	紺野 智秋 (泉の郷)	平山 みちる (鷲ヶ峯)
23	9年度	(川崎)	川崎	(県域)	(横浜)	(川崎)	(相模原)

※1 担当係は「県→横浜→川崎→相模原」の順で持ち回り

※2 実行委員長担当ブロックの前年度担当係は「大会運営」とする

※3 第22回大会より就職相談は含まず「協賛企業」のみとする

令和 7 年 7 月 25 日

社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 事務局長 殿

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
事務局長 小 野 真 由 美

老人福祉施設協議会ホームページ
取材チームの報告および取材先のご推薦の協力について（依頼）

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、老人福祉施設協議会ではホームページを開設するため、高齢者福祉施設 PR 委員会にて検討し、準備を進めております。ホームページのコンテンツの取材については、当初は各ブロックから会員施設職員の取材担当の募集と学生の募集の 2 本立てとしておりましたが、改めて調整した結果、駒澤大学ならびに関東学院大学の学生（計 6 名）にプロライター（タウンニュース社）のご協力いただき取材をすすめることといたしました。

また今後は、各ブロックにおいてそのホームページのコンテンツ内容により、その取材先について、該当する施設がございましたら、貴団体よりご推薦いただきたく形でご協力をお願いすることといたしました。予定されているテーマは次のとおりです。

まずは「施設でのセラピーについて」は別紙推薦書により来る 8 月 15 日（金）までにメールにて事務担当あてにお送りくださいますよう併せてお願い申し上げます。

【取材テーマ】

- ・ 施設でのセラピーについて（アニマルセラピーや音楽療法等）
- ・ 特別養護老人ホームと有料老人ホームの違い
- ・ 施設の庭の有効活用

事務担当

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会
福祉サービス推進部 福祉サービス推進課
〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3-17-2
TEL 045-534-5662 FAX 045-312-6302
E-mail sisetu@knsyk.jp

神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会
老人福祉施設協議会ホームページ 取材先 推薦書

団体名：川崎市社会福祉協議会 施設部会 老人福祉施設協議会

ホームページの取材先施設について次のとおり推薦いたします。

《取材テーマ》

施設でのセラピーについて（アニマルセラピーや音楽療法等）

法人名	社会福祉法人 高津百春会
施設名	特別養護老人ホーム おだかの郷
窓口担当者	関口 英志 施設長
所在地	〒213-0013 川崎市高津区末長2-20-20
TEL	044-982-1110
FAX	044-982-1620
E-mail	e-sekiguchi@hyakusyunkai.com

セラピーの具体的内容と推薦理由
おだかの郷では、アニマルセラピーの一環として、トイプードルのイチロー君を飼っています。 【イチロー君の特徴と施設での役割】 犬種：トイプードル（毛が抜けにくいとため、施設での飼育に適してるようです） 性格：利用者さんに非常に懐いており、好きな人の膝の上で静かに寝ていることも多いです。 利用者さんの癒し：デイサービスやショートステイの利用者さんからも人気が高く、車での送迎時に一緒に乗って利用者を迎えに行くこともあるそうです。 職員採用のきっかけ：イチロー君の存在は、施設のホームページやInstagramなどで発信されており、その投稿を見てイチロー君に会いたいと面接に来る人もいるほどで、職員採用のきっかけにもなっています。 【イチロー君の生活】 職員が交代で自宅に連れて帰り、世話をしています。施設内では粗相をすることもなく、外に行きたくなると鳴いて知らせる賢さも持ち合わせています。 近隣にあるトリマーの専門学校から2ヶ月に1回ほど学生が施設にやってきて格安でトリミングしてくれています。学生のトレーニングにも一役買っています。 【イチロー君が施設にきた経緯】 イチロー君は保護犬で、近所の悪徳ブリーダーが多頭飼いでいた中の1匹です。劣悪な環境下で飼われており、ゲージの外に出されたことはなかったようです。引き取る際は、爪も毛も伸び放題の状態、怯えてゲージからも出られないほどでした。今では施設内を自由に動き回れるまでに回復しました。 劣悪な環境で飼育され、人を恐れ怯えていたイチロー君が、今では利用者さんのみならず職員の癒しにもなっており、施設のPRや職員採用にもつながる重要な存在として、施設に欠かせないキャラクターとなっています。保護犬がセラピードッグになることは、犬・人間・社会のそれぞれに良い影響を与える価値ある取り組みといえるので推薦いたします。

「ふくしの出張講座」について

○令和 7 年度の依頼状況等

①団体：南百合丘小学校 ※麻生区社協

対象：小学 4 年生 20 名

内容：高齢者施設見学とふれあい

日時：6 月 19 日（木）9 時 20 分～10 時 10 分

講師：老人福祉施設協議会（ラスール麻生）

②団体：中野島地区社会福祉協議会 ※多摩区社協

対象：青少年幼児部員 8 名

内容：こどもと家庭のための相談支援

日時：7 月 22 日（火）10 時～11 時 20 分

講師：児童・母子福祉施設協議会（至誠館さくら乳児院・北部児童相談所）

③団体：川中島中学校 ※川崎区社協

対象：中学 1 年生 225 名（6 クラス）

内容：平和教育の一環として 4 分野の講話で幅広く“福祉”について知りたい

日時：8 月 26 日（火）・9 月 19 日（金）・10 月 3 日（金）

講師：保育協議会（よつば保育園）、老人福祉施設協議会（藤崎地域包括支援センター）、
障害者福祉施設協議会（ふじみ園）、救護施設（ノマ・ヴィレッジ 1 聖風苑）

※老人福祉施設協議会は大師の里に依頼し調整

④団体：下小田中小学校 ※中原区社協

対象：小学 4 年生 176 名（5 クラス）

内容：車いす体験

日時：9 月 11 日（木）9 時～12 時 10 分

講師：老人福祉施設協議会（すみよし地域包括支援センター・せせらぎ）

⑤団体：高津第 3 地区民生委員児童委員協議会 ※高津区社協

対象：委員 約 30 名

内容：家庭での育ちと支援について（児母協研究発表より）

日時：9 月 26 日（金）10 時 30 分～11 時 30 分

講師：児童・母子福祉施設協議会（まぎぬ児童家庭支援センター）

⑥団体：宮前第2地区社会福祉協議会障害児者福祉委員会 ※宮前区社協

対象：委員 約15名

内容：大人の発達障害

日時：10月3日（金）13時30分～14時30分

講師：障害者福祉施設協議会（ファームランドながお）

⑦団体：JAセレサ川崎 ※宮前区社協

日時：令和7年11月17日（月）10時～11時30分

会場：JAセレサ川崎 本店 1階 102会議室

内容：育休・産休中職員同士の交流会

育児・保健関係の専門講師による講話

各種相談受付・レクリエーション 等

講師：保育協議会（たつのこのはら保育園）、

児童・母子福祉施設協議会（まぎぬ児童家庭支援センター）

令和7年度6月～8月食糧支援対応報告

(令和7年8月25日現在)

数多くの温かいお気持ちをいただき、心から感謝申し上げます。

夏休み期間中、多くの生活に関する相談が寄せられ、その中には食糧支援を必要とする内容が多くありました。ライフラインが止まりかけており、次の給料までの応急的な繋ぎなど、本取組があったことから柔軟に対応できた案件も複数ありました。また、見守りやこども食堂などへの支援にも活用させていただきました。

8月25日時点での報告をさせていただきます。

なお、今回いただいた食糧のうち、賞味期限が長期のものにつきましては、年末の支援に向けストックさせていただくこととしています。

皆さまのご支援をいただき、必要な方に食糧を届けることができましたこと、重ねて感謝申し上げます。

1. 支援食品数・世帯 2, 6 1 4 品・5 2 世帯

2. 主な用途

- (1) 制度（生活保護等）への繋ぎ
- (2) 収入がないなど、困窮世帯への対応
- (3) ライフラインが止まりかけている世帯への緊急的な支援
- (4) 区社協・こども食堂等 相談機関のストック
- (5) 見守りのツール

3. 配布先（33ヵ所 ※累計）

- (1) 区役所
- (2) 地域包括支援センター
- (3) 生活困窮者支援機関
- (4) こども食堂
- (5) 区社協
- (6) 市社協

2025年度夏 食糧支援かわさき 寄附者一覧

No.	受取日	施設名	法人	点数	備考
1	2025年6月27日	ゆめいく日進町保育園	(福) ハートフル記念会	68	缶パン、カップヌードル、パエリア、栄養ドリンク
2	2025年7月3日	あーる工房	(福) みのり会	21	ホットケーキ粉、パスタ麺、たらこソース、黒酢、インスタント麺
3	2025年7月3日	もえぎの丘	(福) セイワ	37	(宮本施設長来所) アルファ米、インスタント焼きそば、コーヒー、ぬれおかき
4	2025年7月4日	個人(宮前区在住)		8	粉ミルク、ミルク缶
5	2025年7月4日	太陽の園、陽だまりの園、みんなと暮らす町	(福) 照陽会	90	(高橋施設長 来所) ソーセージ
6	2025年7月9日	川崎授産学園	(福) セイワ	39	バックごはん、レトルトカレー、野菜ジュース
7	2025年7月10日	ヤクルト	神奈川県東部ヤクルト販売(株)	480	そうめん480本
8	2025年7月11日	新緑の郷	(福) 緑成会	404	カップ麺、お茶、お菓子
9	2025年7月11日	かないばら苑	(福) 一廣会	160	カップ麺、米、缶ミルク
10	2025年7月11日	プラチナ・ヴィラ野川	(福) 白金会	25	(鯨井事務課長来所) カップ麺、そうめん
11	2025年7月16日	生田広場	(福) よつば会	52	カップ麺、缶ジュース
12	2025年7月16日	菅の里	(福) 徳心会	50	レトルトカレー、インスタントフォー、ゼリー
13	2025年7月16日	ティンクルくぬぎ坂保育園	(福) 星槎	104	インスタント麺、乾麺、レトルト粥
14	2025年7月17日	厨房じんべい	(福) みのり会	36	のり、もち
15	2025年7月17日	木月ほほえみ保育園	(福) 川崎立正福祉会	160	(配送) カップ麺、肉団子、ハンバーグ
16	2025年7月23日	特別養護老人ホームしゃんぐりら	(福) ハートフル記念会	35	(施設長来所) 玄米雑炊
17	2025年7月24日	YMCAかわさき保育園	公益財団法人横浜YMCA	20	(勝俣職員引取り)
18	2025年7月24日	あすいく保育園	(福) ハートフル記念会	37	(勝俣職員引取り)
19	2025年7月24日	潮見台みどりの丘	(福) 藤英会	118	(勝俣職員引取り)
20	2025年7月31日	介護老人福祉施設すえなが	(福) セイワ	337	(勝俣職員引取り) カップ麺、レトルト食品
21	2025年7月31日	介護老人福祉施設みやうち	(福) セイワ	28	(来所) カップ麺、飴
22	2025年8月1日	木月ほほえみ保育園・木月保育園合同	(福) 川崎立正福祉会	111	(勝俣職員引取り) カップ麺、餅、お菓子
23	2025年8月5日	川崎あいいく保育園	(福) ハートフル記念会	38	(勝俣職員引取り) カップ麺、レトルト食品
24	2025年8月6日	京急キッズランド港町駅前保育園	京急サービス(株)	12	ベビーフード、えいようかん
25	2025年8月6日	介護老人福祉施設鷺ヶ峯	(福) セイワ	29	カップ麺、バックごはん
26	2025年8月6日	あーる工房	(福) みのり会	72	お菓子、砂糖、ケチャップ
27	2025年8月6日	介護老人福祉施設幸風苑	(福) セイワ	48	お菓子、カップ麺、レトルトカレー
28	2025年8月7日	グリーンケアcafeあかり		43	水菓子
29	2025年8月7日	富士見プラザ	(福) 子の神福祉会	2	アルファ米(25×2=50食分)
30	2025年8月8日	介護老人福祉施設桜寿園	(福) セイワ	172	(来所) 水、米、インスタント麺、カップ麺
31	2025年8月21日	介護老人福祉施設鷺ヶ峯	(福) セイワ	250	(勝俣職員引取り) お菓子、乾麺、カップ麺
32	2025年8月21日	稗原ゆ〜ず連絡会		48	(勝俣職員引取り) カップ麺

合計 3, 134 点



令和7年8月・9月配信 福祉職員向け研修のご案内

地域の明日をささえる
福祉の研修



社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
総合研修センター

〒210-0024

川崎市川崎区日進町5-1

川崎市複合福祉センター ふくふく2階

TEL : 044-223-6509 FAX : 044-223-6598

開所時間

火曜日～土曜日 9:00～17:00 (受付8:30～)

※日曜日・月曜日・祝祭日・年末年始はお休みとなります



日	月	火	水	木	金	土
休	休	●	●	●	●	●

令和7年度 第2回 新人・新任介護職員向け実践研修

これで安心！まるわかり介護基礎研修

「認知症介護基礎研修」とセットで受講！

日時：令和7年 10月1日（水）～ 11月12日（水）の期間中、全7日間

定員：18名（先着順）

締切：令和7年9月12日（金）

受講料：4,000円（税込）※既に認知症介護基礎研修を修了されていて、同研修を受講しない場合は無料

内容：https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=100



研修番号 SK2



お申込み

本人・家族の「障害」受容の課程

～5つのプロセスに応じて接する技術～

日時：令和7年 10月1日（水） 13:30～16:30

定員：40名（先着順）

締切：令和7年9月3日（水）

受講料：無料

内容：https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=119

講師 小森晃氏

筑波大学兼任講師

高津看護専門学校非常勤講師



研修番号 A06



お申込み

伝わるって、信頼になる！

『わかりやすい話し方』の技術

日時：令和7年 10月14日（火） 13:30～16:30

定員：40名（先着順）

締切：令和7年9月26日（金）

受講料：無料

内容：https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=129

講師 松永俊彦氏

株式会社Loqiemol 代表

公益財団法人日本数学検定協会認定

ビジネス数学インストラクター



研修番号 A20



お申込み

高齢者・障がい者のための “ネットトラブル”防衛術

日時：令和7年 10月21日（火） 14:00～16:00

定員：40名（先着順）

締切：令和7年9月30日（火）

受講料：無料

内容：https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=141

講師 妻鹿琢生氏

武蔵小杉駅前法律事務所代表弁護士

神奈川県弁護士会所属

2009年 弁護士登録



研修番号 A43



お申込み

新入社員（Z世代）の特徴と働き方

～多様な価値観の理解から採用活動を考える～

日時：令和7年 10月23日（木） 13:30～16:30

定員：40名（先着順）

締切：令和7年9月25日（木）

受講料：無料

内容：https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=128

講師 金子愛美氏

株式会社エイデル研究所

出版・広報企画部



研修番号 A30



お申込み



044-223-6509

受付/8:30～17:00 開所/火曜～土曜
(祝日を除く)

研修に関する詳しい情報は内容にアクセスまたは電話にてお問合せください。

お悩み解決！排泄ケア

排尿トラブル、失禁や排尿困難を理解し正しくケア

日 時: 令和 7年 10月 28日 (火) 13:30 ~ 16:30 講 師 坂田 さち子 氏
定 員: 40名 (先着順) 皮膚・排泄ケア認定看護師
締 切: 令和 7年 9月 30日 (火) 日本褥瘡学会 在宅ケア推進協会評議員
受講料: 無料
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=120



研修番号 A17



お申込み

中堅職員・チームリーダー向け研修

組織でも、職場でも 頼れる職員になる！

日 時: 令和 7年 10月 29日 (水) 9:30 ~ 16:40
定 員: 30名 (先着順)
締 切: 令和 7年 9月 30日 (火)
受講料: 1,210円 ※テキスト代として
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=145



講師3名

広嶋 稔之氏

特別養護老人ホーム
みんなと暮らす町 施設長

山本 忠弘氏

グループホーム青葉台 施設長

吉澤 美香氏

地域相談支援センター
あんさんぶる 管理者

研修番号 A36



お申込み

若年性認知症の理解原因疾患と支援の考え方

～それぞれの課題にあった支援～

日 時: 令和 7年 10月 30日 (木) 14:00 ~ 16:00 講 師 来島 みのり 氏
定 員: 40名 (先着順) 東京都多摩若年性認知症総合支援センター センター長
締 切: 令和 7年 10月 2日 (木) 高齢者福祉総合施設マザース日野 副施設長
受講料: 無料 全国若年性認知症家族支援者連絡協議会 理事
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=128



研修番号 A09



お申込み

トラブル・報道相に役立つ介護記録の書き方

～実践的な紛争予防・対応策～

日 時: 令和 7年 11月 6日 (水) 13:30 ~ 16:30 講 師 伊藤 亜記 氏
定 員: 40名 (先着順) 株式会社 ねこの手 代表
締 切: 令和 7年 10月 23日 (木)
受講料: 無料
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=124



研修番号 A31



お申込み

介護福祉士国家試験直前対策講座



研修番号 KT1

日 時: 模擬試験(1日目) 令和 7年 11月 8日 (土) 10:00 ~ 15:10
直前対策講座(2日目) 令和 7年 11月 29日 (土) 9:00 ~ 16:30
定 員: 28名 (先着順)
締 切: 令和 7年 10月 10日 (金)
受講料: 6,000円(税込) ※別途テキスト代2,200円(税込)
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=56

講 師 竹田 幸司 氏

田園調布学園大学 教授
各種介護福祉士国試対策講座 講師 お申込み



044-223-6509

受付 / 8:30 ~ 17:00 開所 / 火曜 ~ 土曜
(祝日を除く)

研修に関する詳しい情報は内容にアクセスまたは電話にてお問合せください。

第20期 川崎市 認知症介護実践リーダー研修



研修番号 NL1



お申込み

日 時: 令和 7年 11月 26日 ~ 令和 8年 1月 28日 (研修全6日間 + 実習4週間)
定 員: 30名
締 切: 令和 7年 10月 29日 (水)
受講料: 20,000円(テキスト代別途)
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=96

合理的配慮の提供義務化に伴う 改正障害者差別解消法のポイント

ボビーのストーリー 段ボール市民劇団による参加型演習

研修番号 A45



お申込み

日 時: 令和 7年 11月 27日 (木) 14:00 ~ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
締 切: 令和 7年 10月 30日 (木)
受講料: 無料
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=137

講師 堀江 まゆみ 氏
白梅学園大学 子ども学部 教授



摂食嚥下障害 食支援の関わり方と広げ方

研修番号 A16



お申込み

日 時: 令和 7年 12月 9日 (火) 13:30 ~ 16:30
定 員: 40名 (先着順)
締 切: 令和 7年 11月 25日 (火)
受講料: 無料
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=144

講師 中川 量晴 氏
東京科学大学 准教授
大学院医歯学総合研究科



高齢者施設での虐待リスクを 構造的に把握する視点

～発生予防のために～

研修番号 A24



お申込み

日 時: 令和 8年 1月 15日 (木) 13:30 ~ 16:00
定 員: 40名 (先着順)
締 切: 令和 7年 12月 18日 (木)
受講料: 無料
内 容: https://www.shakyo-kensyu.jp/kawasaki/kensyu_detail.php?id=125

講師 須田 仁 氏
聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科
准教授





【研修開催を中止または変更する場合について】

自然災害（地震、台風等）及び事故等が発生した場合や避難所開設等のため、研修を実施しない、または変更する場合があります。その場合には、開講当日の午前8時30分までに研修センターのホームページにその旨を掲載いたしますので、ご確認ください。

総合研修センターホームページ：<https://www.kensyu-c.jp/>

川崎市社会福祉協議会は能登の復興を応援しています

聴く、買う、そして考える。能登と川崎がつながる、ふたつの力

能登復興講演会

同時開催 能登応援物産展/チャリティコンサート

災害が起きたら
地域はどうなる？



避難所って
どういうところ？

令和6年1月の能登半島地震、9月の大雨で大きな被害を受けた能登半島。石川県珠洲市内の避難所運営に関わられた「珠洲市立正院公民館 小町康夫氏」を講師としてお招きした講演会を開催します。能登半島地震における避難所運営について学び、日頃から備えをしっかりと行っていけるよう一緒に学びましょう。



日時 令和7年9月12日(金)

16時30分開場 17時30分開演 20時終演

場所 川崎市総合福祉センター
エポックなかはら 3階ホール

入場 無料

主催 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会

同時開催

詳細は裏面を御覧ください →

川崎市青少年復興応援隊による
能登半島地震復興支援活動報告



能登復興応援チャリティ物産展



チャリティコンサート公演



お問合せは… 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会

044-739-8714

〒211-0053
川崎市中原区上小田中 6-22-5
川崎市総合福祉センター



能登復興講演会 講師紹介

珠洲市立正院公民館 小町康夫氏

最大震度7の強い揺れに見舞われた日、石川県珠洲市の指定避難所である市立正院小学校には約500人もの人が避難してきました。小町氏は、珠洲市立正院公民館の館長を務めており、地震発生時には避難所運営の実質的なリーダーとして活動しました。



同時開催

川崎市青少年復興応援隊による能登半島地震復興支援活動報告

この夏、川崎市在住・在学の高校生、大学生約39名が珠洲市を訪れました。現地での活動を通して肌で感じたことや市民へ伝えたい思い、川崎市で災害が置いた時に何ができるのか等、学生が考えたことを皆さんに伝える活動報告を実施します。



同時開催 チャリティコンサート公演

能登半島を慰問し活動を行うシンガー奈月れい氏、シンガー三崎一平氏（元ロス・インディオス）によるチャリティコンサートを実施します。心に響く音楽を通じて明日への希望と癒やしをお届けします。



奈月れい



三崎一平
(元ロス・インディオス)



同時開催

能登復興応援 チャリティ物産展

1日でも早い復興を願い、離れた場所から少しでもできる応援として能登半島の特産物を取り寄せた物産展を行います。



当日は募金箱を設置し、集まった募金は「令和6年能登半島地震災害義援金（石川県被災者支援分）」として寄付します。